

■ 営業実績 (国内;単体ベース)

		前年比(%)
既存店	日商	103.6
	客数	100.6
	客単価	103.0
全店	売上高	101.1

※ 既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

■ 店舗数

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	12	12	/	/	/
閉店	12	12			
純増減	0	0			
月末店舗数		15,646	16,571	8,200	24,771

■ AFC別月末店舗数

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
328	390	207	925

当月の総括

・2022年度の初月となる当月は、中食の主要カテゴリーを中心とした販促強化や新定番商品のヒットが奏功し、既存店日商、客数、客単価のいずれも前年を上回り、好調なスタートとなった。

・中食の中でも、「春のおむすび祭り」キャンペーンや新商品が好調に推移したおむすびや、先月から引き続き好調なチルド弁当の販売によって、米飯全体が大きく前年を上回り、売上・客数全体の伸びをけん引した。

・発売8日間で220万食を販売した新商品の「ファミマ・ザ・クリームパン」のような新定番商品も誕生し、中食全体も、前年度に引き続き前年を上回る実績で好調に推移している。

【おむすび】

「春のおむすび祭り」キャンペーンによる販促企画に加え、「SPAM®むすび」や「ごちむすびシリーズ」の高付加価値商品の新商品が好調に推移し、前年を大きく上回る実績となった。

【パン】

「ファミマ・ザ・メロンパン」「ファミマ・ザ・カレーパン」に次ぐ新定番として、「ファミマ・ザ・クリームパン」の販売が好調に推移した結果、前年を上回る売上となり、日商の向上に貢献した。

【カウンターコーヒー】

前年に比べ気温の低い日が続いたため、ホットコーヒーの売上が伸びたほか、フラッペのセール施策が奏功し、前年を大きく上回る実績となった。

株式会社ファミリーマート 月次営業実績の推移[2022年度]

■営業実績(国内;単体)

前年比(%)		22/3	22/4	22/5	22/6	22/7	22/8	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1	23/2
既存店	日商	103.6											
	客数	100.6											
	客単価	103.0											

※既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

前年比(%)		22/3	22/4	22/5	22/6	22/7	22/8	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1	23/2
チェーン全店売上高		101.1											

■店舗数

	22/3	22/4	22/5	22/6	22/7	22/8	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1	23/2	合計
出店	12												12
閉店	12												12
純増減	0												0
月末店舗数	15,646												15,646

国内AFC	925												
国内計	16,571												
海外AFC	8,200												
国内外計	24,771												

・国内AFC内訳

	22/3	22/4	22/5	22/6	22/7	22/8	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1	23/2
沖縄	328											
南九州	390											
JR九州リテール	207											
国内AFC計	925											